

2014 年 11 月  
University of California, Berkeley  
Department of Mechanical Engineering  
PhD student 畠山大輝

## 留学報告書

2012 年の夏からカリフォルニア大学バークレー校 (UC バークレー) の博士課程に在籍している畠山大輝です。渡米して 2 年 3 ヶ月が経ちました。本報告書では過去 2 年の反省をするとともに、博士課程 3 年目の方針について報告します。

### 1. 研究について

私の研究室では、メンバーが数人で協力してプロジェクトを行うことが多く、そのため殆どのメンバーは複数のプロジェクトに関わっています。私も 4 つ程プロジェクトを抱えていまして、そのうちの 3 つのプロジェクトは共著者が国際会議 (GRC, SPIE, NFO, FiO) で発表しました。その中で 10 月に行われた FiO のアブストラクトは、所属機関がお金を払っていただければウェブサイト (<http://www.opticsinfobase.org/abstract.cfm?uri=FiO-2014-FM4A.4>) で閲覧することが出来ます。また、論文も投稿中ですので、来年にはどこかの論文誌に載るのではないかと期待しています。

共著論文の数はコンスタントに増えていくと思うのですが、自分が筆頭著者の論文はいつになったら出るのかまだわかりません。投稿中の共著論文も筆頭著者と Equal Contribution の論文ではありますが、やはり博士課程では自分の名前が最初に来る論文をいくつか出さないといけないだろうと思っています。来年には Qualifying Exam を受ける予定ですので、それまでには自分の研究を形にするのが当面の目標です。

### 2. 英語学習について

バークレーにはポスドク・visiting scholar 向けの英語学習プログラムがあり、今年の 6 月から 8 月にかけて受講していました。最初の 1 ヶ月半は英語に慣れるのが目的の授業で、米国に来たばかりのポスドクには良かったかもしれませんが、既に 2 年以上アメリカに居る自分にはあまり有用ではありませんでした (ただし、バークレーに来たばかりの学生であれば受講をお勧めします)。次の 1 ヶ月半はプレゼンテーションの授業で、プレゼンテーションの仕方について深く学ぶことが出来ました。授業では実際に発表を行い、先生と生徒が評価し、自分のどこが良かったのか、どこがまずかったのかを反省することが出来ました。また、先生が発音やアクセントを教えるのが上手く、非常に参考になりました。今後の英語学習としましては、発音は自分でやるかネイティブに確認してもらい、リスニングは Netflix でドラマを英語字幕付きで鑑賞し、スピーキングはラボメイトとディスカッションしていきたいと思っています。